

中川和彦先生略歴・主要業績

略  
歴

一九三一年（昭和六年）八月七日生

学  
歴

一九五〇年（昭和二五年）三月 広島県立尾道東高等学校卒業

一九五〇年（昭和二五年）四月 一橋大学法学部入学

一九五六年（昭和三一年）三月 一橋大学法学部卒業（法学士）

一九五六年（昭和三一年）四月 一橋大学大学院法学研究科修士課程入学、経済法専攻

一九五九年（昭和三四四年）三月 一橋大学大学院法学研究科修士課程修了（法学修士）

一九五九年（昭和三四四年）四月 一橋大学大学院法学研究科博士課程入学

一九六二年（昭和三七七年）九月 一橋大学大学院法学研究科博士課程修了（一橋大学法学博士）

職  
歴

一九六三年（昭和三八八年）四月（社）国際商事法研究所研究委員（現在に至る）

一九六四年（昭和三九年）四月 成城大学経済学部専任講師

- 一九六五年 (昭和四〇年) 四月 上智大学非常勤講師 (平成一四年三月まで)
- 一九六七年 (昭和四二年) 四月 成城大学経済学部助教授
- 一九七三年 (昭和四八年) 四月 成城大学経済学部教授
- 一九七三年 (昭和四八年) 四月 一橋大学非常勤講師 (昭和五一年三月まで)
- 一九七四年 (昭和四九年) 四月 成城大学大学院経済学研究科教授併任
- 一九七七年 (昭和五二年) 四月 成城大学法学部教授 (法学部新設による配置換え)
- 一九七七年 (昭和五二年) 四月 成城大学評議員 (平成一二年一〇月まで)
- 一九七九年 (昭和五四年) 四月 成城大学法学部長 (昭和五八年三月まで)
- 一九七九年 (昭和五四年) 四月 学校法人成城学園評議員 (平成八年一月まで)
- 一九八五年 (昭和六〇年) 四月 成城大学法学部長 (昭和六四年三月まで)
- 一九八七年 (昭和六二年) 四月 成城大学大学院法学研究科科長 (平成三年三月まで)
- 一九八七年 (昭和六二年) 四月 成城大学大学院法学研究科教授併任
- 二〇〇二年 (平成一四年) 三月 成城大学退職 (定年)
- 二〇〇二年 (平成一四年) 四月 成城大学名誉教授
- 二〇〇三年 (平成一五年) 四月 大阪国際大学非常勤講師

この他に、早稲田大学、立教大学、東京外国語大学などに出講

## 学会、社会における活動

日本ラテンアメリカ学会会員 (昭和六一年六月から平成二年六月まで理事長)、ラテンアメリカ政経学会会員

著 書

(理事)、日本経済法学会会員(理事、監事を歴任、現在、リーゼ賞運営委員会世話人)、私法学会会員、文部省学術審議会専門委員(昭和四九年度および昭和五〇年度)、通商産業省中南米通商政策研究委員会座長(昭和五一年度および昭和五二年度)、上智大学イペロアメリカ研究所準所員(現在、名誉所員)、メキシコ国立大学比較法研究所客員研究員、バルセロナ比較法研究所客員研究員。

主要著作目録(二〇〇三年三月末現在)

一九六三年 (昭和三八年)

一二月 『ラテン・アメリカ法律書概説』ラテン・アメリカ協会

一九六六年 (昭和四一年)

三月 『メキシコ会社法・信用証券および活動一般法』ラテン・アメリカ協会

一九六七年 (昭和四二年)

三月 『中米共同市場』(大原美範編著)アジア経済研究所(資料、中米の自由貿易および経済統合に関する多数国間条約、ほか、を担当)

一九六八年 (昭和四三年)

七月 『ペルー国新会社法』ラテン・アメリカ協会

- 一九六九年 (昭和四四年)  
三月 『ラテン・アメリカ経済統合の条件』 (大原美範編著) アジア経済研究所 (「パンアメリカニズム」)  
「経済統合と法の統一」を執筆
- 七月 『メキシコ 経済と投資環境』 (岡部広治編) アジア経済研究所、(「企業体制」) を執筆
- 一九七〇年 (昭和四五年)  
十一月 『株式会社法辞典』 (田中誠二編集代表) 同文館、(「為替会社」) 「準則主義」など一〇数項目を執筆
- 一九七二年 (昭和四七年)  
五月 『ブラジル 経済と投資環境』 (大原美範編著) アジア経済研究所 (「企業体制」) を執筆
- 一九七三年 (昭和四八年)  
三月 『ラテン・アメリカ商事法』 千倉書房
- 一九七四年 (昭和四九年)  
三月 『世界各国の金融制度』 第九巻 (高垣寅次郎編) 大蔵財務協会、(「メキシコの金融制度」) 「スペインの金融制度」を執筆
- 三月 『国際取引ハンドブック』 (朝岡、土井、小林、竹田編) 中央経済社、(イベロ、ラテンアメリカの基本法制、会社組織法、契約、ラフタ、アンデス共同市場などの地域経済機構を執筆)
- 八月 『会社の計算』 下巻 (吉永、飯野編) 商事法務研究会、(「第七章 監査役」) を執筆
- 一九七六年 (昭和五一年)  
一二月 『五ヶ国語対照ビジネス用語大辞典』 (共著) たまいらば
- 一九七八年 (昭和五三年)

三月 『今後のわが国の対中南米通商政策のあり方』（財）産業研究所（中南米通商政策研究委員会座長として総括）

一二月 『ラテン・アメリカ事典 一九七九年』ラテン・アメリカ協会（「法制」を執筆）

一九七九年（昭和五四年）

四月 『経営法学』（吉永栄助編）丸善株式会社、（「第一章経営法学総説」を執筆）

一九八〇年（昭和五五年）

六月 『ブラジル会社法』国際商事法研究所

一九八三年（昭和五八年）

一〇月 『ブラジル憲法の諸問題』（編著）ラテン・アメリカ法研究会

一九八九年（昭和五九年）

三月 『ラテン・アメリカ事典 一九八四年』ラテン・アメリカ協会（編集委員および「法制」を執筆）

四月 『会社法務大辞典』（大隅、星川、吉永編集代表）（項目選定委員および一〇数項目執筆）中央経済社

七月 『講義会社法』（蓮井、酒巻、志村共編）青林書院、（第二編第三章 株式第一節、第四節）を執筆

一九八五年（昭和六〇年）

三月 『メキシコ憲法の諸問題』ラテン・アメリカ法研究会

一二月 『ブラジル連邦共和国憲法』ラテン・アメリカ協会

一九八六年（昭和六一年）

二月 『独禁法・独禁政策文献目録』（編集代表）五山堂書店

一九八七年（昭和六二年）

七月 『独占禁止法講座 第六巻 不公正な取引方法(下)』、(経済法学会編)、商事法務研究会、(第二章

国際的合併会社と不公正な取引方法」を執筆

一九八八年 (昭和六三年)

三月 『ラテンアメリカ諸国の法制度』(矢谷通朗と共編) アジア経済研究所

九月 『ラテン・アメリカ事典 一九八九年』ラテン・アメリカ協会(編集委員および「法制」を執筆)

一九八九年 (昭和六四年/平成一年)

二月 『和葡ビジネス語辞典』(共著) たまいらば

八月 『ラテンアメリカ諸国の経済法制』(共編) アジア経済研究所

一二月 『ラテンアメリカ諸国の経済関係法』アジア経済研究所

一九九一年 (平成三年)

九月 『ポ和ビジネス語辞典』(共著) たまいらば

一九九二年 (平成四年)

三月 『ラテンアメリカ経済法の国際的展開』アジア経済研究所

一九九三年 (平成五年)

二月 ギリエルモ・F・マルガダン・S著(中川和彦訳)『メキシコ法発展論』アジア経済研究所

一九九六年 (平成八年)

二月 『ラテン・アメリカ事典 一九九六年』ラテン・アメリカ協会(編集委員および「法制」を執筆)

二〇〇〇年 (平成一二二年)

七月 『ラテンアメリカ法の基盤』千倉書房

論稿

- 一九五八年 (昭和三十三年)  
四月 「第八回経済法学会報告要旨と質議応答」『財經詳報』一六六号
  - 一九五九年 (昭和三十四年)  
四月 「スペイン商法のいわゆる客観主義について」『二橋研究』五号
  - 一九六一年 (昭和三十六年)  
七月 「一九五三年スペイン有限責任会社法」『二橋研究』七号
  - 一九六二年 (昭和三十七年)  
一月 「ラテン・アメリカ諸国の株式会社の行政的監督制度」『二橋論叢』四七巻二号
  - 九月 「ヴェネズエラ有限責任会社法」『二橋研究』九号
  - 一九六三年 (昭和三十八年)  
六月 「アルゼンチン会社法改正の動き」『ラテン・アメリカ研究』一号
  - 八月 「LATA および中米経済統合について」『海外商事法務』一三三号
  - 一九六四年 (昭和三十九年)  
一一月 「アルゼンチンにおける株式会社に対する行政的監督制度」『アジア経済』五巻九号
  - 一九六五年 (昭和四〇年)  
一月 「カルロス・マラガリーガ著『アルゼンチン商法史大要(一八一〇―一九六〇)』一九六二(紹介)
- 『成城大学 経済研究』二二〇号

- 二月  
アルグアス著(中川和彦訳)「アルゼンチンにおける外国会社」『ラテン・アメリカ研究』五号
- 六月  
「ラテン・アメリカにおける法の統一」『一橋論叢』五三卷六号
- 一〇月  
「ラテン・アメリカ諸国における独占禁止法」『海外商事法務』四〇号
- 一九六六年  
(昭和四一年)
- 三月  
「メキシコ国の教育事情―大学、特に法学部を中心にして」『成城大学 経済研究』二三号
- 七月  
「中米経済統合の法律上の諸問題」『アジア経済』七卷六号
- 七月  
「メキシコ国立自治大学法学部」『アジア経済』七卷六号
- 九月  
「チリー一九五九年商工業の自由競争を促進するための法令」『外国の立法』二五号
- 九月  
「商法二四五条一項一号にいう『営業の全部又は一部の譲渡』の意義」(判例評釈)
- 『週刊金融判例』二二一号
- 一一月  
「アルゼンチン独占禁止法の概要」『外国の立法』二六号
- 一一月  
「ブラジル一九六二年経済力の濫用を禁止する法律」『外国の立法』二六号
- 一一月  
「ラテン・アメリカにおける企業形態―I―」『成城大学 経済研究』二四号
- 一九六七年  
(昭和四二年)
- 一月  
「スペイン競争制限慣行に関する法律」『海外商事法務』五五号
- 五月  
「合併会社の法的考察―ラテン・アメリカの経験の示唆するもの」『ビジネスレビュー』一五卷二号
- (吉永栄助と共著)
- 六月  
「メキシコの可変資本会社制度」『成城大学 経済研究』二五号
- 六月  
「ペルー新会社法の概要」『海外商事法務』六〇号



- 九月 「経済統合の法律的諸問題」『アジア経済』八巻九号  
一九六八年 (昭和四三年)
- 二月 「アルゼンチン商法改正の概要」『海外商事法務』六八号  
三月 「スペインにおける経済法」『成城大学 経済研究』二六号  
三月 「ラテン・アメリカ法研究の意義」『海外事情』(拓殖大学) 一六巻三号  
五月 「ラテン・アメリカ法研究序説」『ラテン・アメリカ論集』二号  
一九六九年 (昭和四四年)
- 一月 「El Derecho Japonés en general」Boletín Mexicano de Derecho Comparado, Tomo III (Nueva Serie), No. 4 (Enero-Abril 1969)
- 五月 「ペルー国新有価証券法」『海外商事法務』八三号  
九月 「ストと全学集会 メキシコの大学」(大学改造第三部世界の大学を見る)  
『サンケイ新聞』昭和四四年九月一二日号
- 九月〜十二月 「チリにおける経済法」(一、二完)『成城大学 経済研究』二九号、三〇号  
一九七〇年 (昭和四五年)
- 三月 「K. L. Karst, Latin American Legal Institutions-Problems for Comparative Study, 1965: H. P. Vries & others: The Law of the Americas-An Introduction to the Legal Systems of the American Republics, 1965」(書評)『成城大学 経済研究』三二号
- 五月〜七月 「ラテン・アメリカ法の手引き」(一、二)『海外商事法務』九五号、九七号  
七月 「アルゼンチン国一九六七年会社法草案」『成城大学 経済研究』三二号

八月 「エクアドル国一九六四年会社法」『海外商事法務』九八号

一〇月 「ラテン・アメリカにおける経済法」『経済法』一三三号

一〇月～四六年三月 「メキシコ民法の概要」(一～四)『海外商事法務』一〇〇号、一〇二号、一〇五号

一一月 「スペインにおける商法Ⅱ企業法論」『成城大学経済学部創立二〇周年記念論文集』

一一月 「会社設立に対するメキシコ外務省の規制について」『ラテン・アメリカ研究』九号

一二月 「ラテンアメリカにおけるヨーロッパ出身の法学者」『成城大学 経済研究』三三三三

一九七二年 (昭和四六年)

一月 「ペルー有価証券法」『外国手形法シリーズ』(日本輸出入銀行監査部法規課) 五号

六月～一〇月 「メキシコ商法の概要」(一～四)『海外商事法務』一〇八号～一一二号

六月 「スペイン株式会社における会計監査役制度」『成城大学 経済研究』三三五号

一一月 「メキシコの反独占法制」『成城大学 経済研究』三三六号

一二月 「アンデス共同市場の外資共通規則」『海外商事法務』一一四号

一一月～四七年一二月 「メキシコ会社法の概要」(一～八、一一)『海外商事法務』一一三～一二二号、

一二六号)

一九七二年 (昭和四七年)

三月～九月 「メキシコ金融制度の成立と発展」(一～三完)『成城大学 経済研究』三七号～三九号

九月 「アルゼンチン一九七二年新会社法の概要」『海外商事法務』一二三三三

一一月 「ラテン・アメリカ諸国における国民化の傾向——ラテン・アメリカ諸国の外資立法の最近の動向」

『海外商事法務』一二二五号

- 一二月～四八年三月 「アルゼンチン一九七二年新会社法の素描」(一、二完)『成城大学 経済研究』四〇号、四一号
- 一九七三年 (昭和四八年)
- 二月～六月 「スペイン会社法の焦点—日本企業のスペイン進出にあたって」(一～三)『国際商事法務』一卷二号、五号、六号
- 一〇月 「国際経済と競争政策に関する東京国際会議報告…第一分科会 国際貿易と競争政策」『旬刊商事法務』六四六号
- 一月 「新しい流通政策と消費者保護」『商工指導』二六七号
- 一月～四九年八月 「ブラジル会社法」(一～五)『国際商事法務』一卷二一号、二卷二二号、四号、五号、八号
- 一九七四年 (昭和四九年)
- 七月 「アルゼンチン、ブラジル、チリ三国における民法典編纂の素描」『海外事情』二二卷七号
- 一〇月 「ブラジル国一九七四年市民法典草案の会社規定」『成城大学 経済研究』四七号
- 一九七五年 (昭和五〇年)
- 四月 「監査役と会計監査人との関係における商法上の問題点」『産業経理』三三卷四号
- 一〇月～十一月 「ブラジル新株式会社法草案管見」(一、二)『国際商事法務』三卷一〇号、一一号
- 一九七六年 (昭和五一年)
- 三月 「ラテン・アメリカの会社法とその実態」『二橋論叢』七五卷三三号
- 三月 「ブラジルの独占禁止法—ブラジルの経済力濫用抑止法」『国際商事法務』四卷三三号
- 九月 「ラテン・アメリカ株式会社法の近時の動向」『証券経済時報』五四号

一九七七年 (昭和五二年)

二月 「協同組合と事業者との価格協定 (富山県生コンクリート協同組合事件) (公取委昭和四八年三月

二九日勧告審決の解説)」『独禁法審決・判例百選 (第二版)』

二月 「(1)事業者の協定と事業者団体の行為 (三条後段と八三条一項一号) との関係・排除措置——事業者団体に關する解散命令 (昭和電工 (株) ほか事件) (公取委昭和四八年一〇月一三日勧告審決の解説)」

『独禁法審決・判例百選 (第二版)』

三月 「アルゼンチン新会社法における株式会社に対する行政的監督制度」『現代ラテンアメリカ論』

(ラテン・アメリカ協会) 所収

五月 「新設『法学部』のあらまし」『成城教育』一八号

六月 「外資法の意味するもの」『国際経済』一六五号 (臨時増刊メキシコ特集)

六月 「ブラジル新株式会社法の素描」『季刊ブラジル』一号

一九七八年 (昭和五三年)

七月 「ペルー国の有限責任個人企業」『成城法学』二号

八月 「特許協力条約と發展途上国の立場」『ジュリスト』六七〇号

九月 「メキシコの外資法」『国際商事法務』六卷九号

一一月 「發展途上国の独禁法制と我が国企業の対応」『企業法研究』二八二輯

一二月 「取締役の監視義務」『商法の争点』(ジュリスト別冊)

一九七九年 (昭和五四年)

二月 「監査役——会社の機関の改正」『産業経理』三九卷二号

- 二月 「ブラジル新株式会社法における取締役・取締役会」『成城法学』三号  
五月 「スペイン憲法（資料）」『レファレンス』二九卷五号  
一九八〇年 （昭和五五年）  
一二月 「ブラジル新外国人法の問題点」『国際商事法務』八卷一二号  
一九八一年 （昭和五六年）  
六月 「アルゼンチンの新独占禁止法」『国際商事法務』九卷六号  
一九八二年 （昭和五七年）  
三月 「ラテン・アメリカ法・緒論」『成城法学』一一号  
三月 「ランヘル・コウト教授の経済法理論」『成城大学 経済研究』七七号  
五月 「クアドゥラ教授の経済法理論」『吉永栄助先生古稀記念 進展する企業法・経済法』（中央経済社）所収  
一〇月〜平成二年六月 「メキシコ国一九二八年連邦民法典」（一〜一八）『成城法学』一二号〜三五号  
一九八三年 （昭和五八年）  
三月 「バレーラ・グラーフ教授の商法改正論」『成城法学』一三三号  
一〇月 「取締役の監視義務と取締役会の監督義務」『ジュリスト増刊 商法の争点（第二版）』  
一二月 「上智大学外国語学部に期待する」『二五年の歩み 上智大学外国語学部一九五八〜一九八三年（昭和五九年）』  
一九八四年  
三月 「ドン・キホーテとサンチョパンサの関係の法的考察——法学的ドン・キホーテ論序説」  
『成城法学 教養論集』四号

三月

「チエーン加盟店が他のチエーンに加盟すること又は競争商品の販売を理由とする差別的取扱  
(大正製薬株式会社事件) (公取委昭和三〇年二月一〇日勧告審決の解説)」『独禁法審決・  
判例百選 (第三版)』

三月

「ラテン・アメリカで本を買うことについて」『公正取引』四〇一号

五月

「セーラ・ローハス教授の経済法理論」『田中誠二先生米寿記念論文 現代商事法の重要問題』  
(経済法令研究会) 所収

七月

「一冊の本」『図書館暦』(成城大学) 五号

一一月

「メキシコ国婚姻法の素描」『成城法学』一八号

一二月〜平成四年二月 『ラテン・アメリカ書店めぐり』(一〜九)『Pinus』(雄松堂書店) 一四号〜一七号、

一九号、二二号、二八号、三〇号、三三、三四号

一九八五年

(昭和六〇年)

一二月

「アルゼンチンの労資混合会社」『商事法の現代的課題 喜多丁裕先生退官記念論文集』  
(中央経済社) 所収

一九八六年

(昭和六一年)

一月

「ラテン・アメリカ研究の現状と課題」『聖教新聞』一月一八日号

三月

「メキシコの外資規制における信託制度の法的考察」『成城大学 経済研究』九二号

五月

「メキシコ信託法の素描 (一)」『成城法学』一二号

一二月

「ラテン・アメリカにおける信託法の展開」『四宮和夫先生古稀記念論文集 民法・信託法理論の展開』  
(弘文堂) 所収

一九八七年 (昭和六二年)

一月 「メキシコの信託銀行の法的制度の素描」『成城大学経済研究』九五号

七月 「ラテン・アメリカにおける公証人制度のはじまり」『ラテン・アメリカ時報』一九八七年七月二一日号

一九八八年 (昭和六三年)

三月 「メキシコ国の国営金融会社の法的構造」『成城大学大学院経済学研究科創設二〇周年記念論文集』

三月 「パラグアイ国一九八五年市民法典の成立」『成城法学』二七号

一九八九年 (昭和六四年)

七月 「スペイン商法の匿名組合の素描」『産業経理』四九卷二号

一九九〇年 (平成二年)

三月 「女侯爵カルデロン・デ・ラ・バルカ夫人伝」『成城教育』六七号

六月 「反トラスト法を学ぶ」『公正取引』四七六号

九月 「スペイン政党法」『外国の立法』二九卷五号

一二月 「アンドレース・ベリヨ小伝」『成城法学 教養論集』八号

一九九一年 (平成三年)

一一月 「実質的に同一の日刊紙の地域的差別対価 (北国新聞社事件) (東京高裁昭和三年三月一八日

決定の解説) 『独禁法審決・判例百選 (第四版)』

一一月 「相手方に対する差別対価 (東洋リノリウムほか事件) (公取委昭和五五年二月七日審決の解説)

『独禁法審決・判例百選 (第四版)』

一九九二年 (平成四年)

七月 「コロンビア一九九一年憲法の素描」『ラテン・アメリカ時報』九二年七月号

七月～一〇月 「スペイン国一九八九年株式会社法」(一、二完)『成城法学』三九号、四〇号

十一月 「スペイン国一九八九年競争防衛法」『成城法学』四一号

一九九三年 (平成五年)

一月 「ベニート・ファレス小伝」『成城法学 教養論集』一〇号

三月～五月 「チリ国一九八一年株式会社法」(一、二完)『成城法学』四二号、四三号

六月 「パラグアイ国一九九二年新憲法の素描」『ラテン・アメリカ時報』九三年六月号

九月 「チリ国一九八〇年自由競争防衛法(デクレト第五一一号)」『成城法学』四四号

十一月～六年二月 「メキシコ国一九九二年改正会社法」(一、二、三、四完)『国際商事法務』二二卷一一号、

一二号、二三卷一号、二号

十一月～六年九月 「チリ一八五五年民法典とアンドレス・ベリヨ」(一～三完)『成城法学』四五号、

四六号、四七号

一二月 「スペイン独禁法の素描」『久保欣哉先生記念 多国籍企業の法規制』(中央経済社) 所収

二月～六年一月 「メキシコの最近の憲法改正」(上・下)『ラテン・アメリカ時報』九三年二月号、

九四年 一月号

一九九四年 (平成六年)

二月 「ブラジルの経済発展と企業組織法の生成・発展」『ブラジル開発法の諸相』(アジア経済研究所)

所収

六月 「マクシミリアーノ・デ・アプスブルゴ(傀儡皇帝マクシミリアン) 小伝」



『成城法学 教養論集』一一号

七月 「ラ米における合併企業制度の近時の動向」『ラテン・アメリカ時報』三七巻七号

七月 「一九世紀メキシコの累積債務」『成城大学 経済研究』一二五号

一二月 「スペインにおける民事保全」『民事保全講座第一巻——基本理論と法比較』（法律文化社）一巻、所収

一二月 「経済統合と法の統一」『経済協力機構と法——ラテン・アメリカ地域主義の現代的意義』

（安藤勝美編）（アジア経済研究所）所収

一九九五年（平成七年）

三月 「ヒスパニアにおけるローマ法の早期継受」『成城法学』四八号

六月 「アンドレ・ス・ベリヨとの出会い」『成城教育』八八号

六月〜一〇月 「ビシーゴード下のヒスパニアの法」（一・二完）『成城法学』四九号、五〇号

一二月 「ツルザルムルツザルム公妃アグネス小伝——戦場を駆けめぐった女性の生涯」

『成城法学 教養論集』一二号

一九九六年（平成八年）

三月 「フエロ・フスゴの素描」『成城法学』五一号

三月 「メキシコの外資規制の変遷とOECD加盟後の課題」『外国投資の法的保護 その現代的様相と課題』（矢谷通朗編）（アジア経済研究所）所収

『成城法学』五二号

七月 「カステイリヤの勃興とその法」『成城法学』五二号

九月 「ロンドンにおけるアンドレ・ス・ベリヨ」『成城教育』九三号

一九九七年（平成九年）

- 「チリ民法典とアンドレース・ベリヨ」『イベロアメリカ研究』（上智大学）一九卷一号  
 一月〜一〇年二月 「カステイリヤの興隆とその法（一、二完）」『成城法学』五三号、五五号  
 三月 「コンセプシオン・ロンバルドIIデミラモン夫人小伝」『成城法学 教養論集』一三三号  
 一〇月 「カステイリヤ・レオン王賢王アルフォンソ一〇世小伝」『成城大学 経済研究』一三八号  
 一九九八年 （平成一〇年）  
 一月 「中世のカステイリヤの税制の素描」『成城大学 経済研究』一三九号  
 四月 「トマス・メヒア將軍（傀儡皇帝マクシミリアーノに殉じたオトミ族出身の軍人）小伝」  
 『成城法学 教養論集』一四号  
 七月 「カトリック両王の時代とその法」『成城法学』五七号  
 九月 「インディアス法の形成と発展」『成城法学』五八号  
 一九九九年 （平成一一年）  
 三月 「インディアスにおける先住民の法的処遇の素描」『二二世紀を展望する法学と政治学 成城学園  
 八〇周年／成城大学法学部二〇周年記念』（信山社）所収  
 四月 「蔵書の行方——ラテン・アメリカ古典文庫（仮称）の提案」『ラテン・アメリカ時報』四二卷四号  
 六月 「インディアス法の私法的側面の素描」『成城法学』五九号  
 二〇〇〇年 （平成一二年）  
 三月 「ラテンアメリカの独立の動きと先駆的憲法」『成城法学』六一号  
 三月 「社会の文化の表現としての法」（巻頭エッセイ）『アジ研ワールド・トレード』五四号  
 五月 「メキシコ独立の父、ミゲル・イダルゴIIコステイリヤの生涯」『成城法学 教養論集』一五号

二〇〇一年（平成一三年）

一月 「ラテンアメリカ商法の前史としてのスペイン商法の生成（一八世紀まで）『成城法学』六四号

三月 「セビリアの通商院とヌエバ・エスパーニャのコンスラードについて」『成城大学 経済研究』

一五一・一五二合併号

五月 「独裁者ボルフィリオ・ディアス大統領小伝」『成城法学 教養論集』一六号

七月 「ビルバオ条例（一七三七年）の素描」『成城法学』六七号

九月 「メキシコ皇帝アグステイン一世の生涯」『成城教育』一一三号

二〇〇二年（平成一四年）

一〇月～平成一五年三月 「エクアドル国一九九九年会社法」（一～六未完）『国際商事法務』

三〇巻一〇号、一一号、一二号、三二巻一号、二号、三号

一二月 「一八世紀スペインのビルバオ地方における会社の実態」（一）『成城法学』六九号

二〇〇三年（平成一五年）

二月 「ブラジルの新市民法典の成立」『国際商事法務』三二巻二号

三月 「アントニオ・ロベスIIデッサンタリアナ將軍小伝」『成城法学 教養論集』一七号

1. The first part of the paper is devoted to the study of the properties of the function  $f(x)$  defined by the equation

$$f(x) = \frac{1}{2} \left( f\left(\frac{x}{2}\right) + f\left(\frac{x+1}{2}\right) \right)$$

It is shown that the function  $f(x)$  is continuous and that it satisfies the functional equation  $f(x) = f\left(\frac{x}{2}\right)$  for all  $x$  in the interval  $[0, 1]$ . The function  $f(x)$  is also shown to be differentiable at  $x = 0$  and  $x = 1$ .

2. The second part of the paper is devoted to the study of the properties of the function  $g(x)$  defined by the equation

$$g(x) = \frac{1}{2} \left( g\left(\frac{x}{2}\right) + g\left(\frac{x+1}{2}\right) \right)$$

It is shown that the function  $g(x)$  is continuous and that it satisfies the functional equation  $g(x) = g\left(\frac{x}{2}\right)$  for all  $x$  in the interval  $[0, 1]$ . The function  $g(x)$  is also shown to be differentiable at  $x = 0$  and  $x = 1$ .

3. The third part of the paper is devoted to the study of the properties of the function  $h(x)$  defined by the equation

$$h(x) = \frac{1}{2} \left( h\left(\frac{x}{2}\right) + h\left(\frac{x+1}{2}\right) \right)$$

It is shown that the function  $h(x)$  is continuous and that it satisfies the functional equation  $h(x) = h\left(\frac{x}{2}\right)$  for all  $x$  in the interval  $[0, 1]$ . The function  $h(x)$  is also shown to be differentiable at  $x = 0$  and  $x = 1$ .